

第4回 蓮沼海浜公園における「整備等の基本的な考え方」検討会議

議事要旨

1. 開催日時場所

日時：令和5年3月17日（金曜日）午後3時00分から午後4時00分

会場：千葉県教育会館 6階 604会議室

2. 出席委員

阿部伸太委員（会長）、関寛之委員、高山義則委員、遠藤和彦委員、鈴木 章浩委員、

椎名誠委員、相澤修一委員、斎藤和義委員（代理 岩崎美貴委員）、

堀口正昭委員（代理 宮川治郎委員）、前田尚志委員（代理 屋宜哲也委員）

加賀谷美弥子委員、荒木健一委員（代理 速水誉人委員）

3. 傍聴者

1名

4. 議事

（1）報告事項

事務局 別添資料1～3にて、第1回から第3回までの検討会議の振り返り、1月の各委員への意見照会の結果、パブリックコメントで出た意見について説明。

（2）審議事項

事務局 最初に、出席できなかった委員の意見を紹介させていただく。

「夏場だけではない誘客が期待できる公園がテーマであり、そのためには、自然環境、地域住民、利用者にとっても健康や癒し効果があって、持続可能性を考えることができるウェルネスな公園という基本方針は問題ないとする。まず、ウェルネスといったテーマを掲げたので、海岸線や自然環境を破壊するような開発は方針としてはあり得ないとする。ヤシの木は、保安林の内部に植樹するよりは、館山市のように周辺への雰囲気醸成のために道路沿いに植えるのが効果的ではないかと考える。蓮沼海浜公園に近接する太平洋岸自転車道は、ナショナルサイクルルートに指定されていることから、公園に休憩スペースとなるようなテント村やBBQ施設などがあるとよいのではないかと考える。成田空港からサイクリストを誘致することも検討してみてもどうか。ジップラインやアスレチック、水遊び場などの家族で遊ぶことのできるアクティビティは重要で、公園内の飲食施設の売り上げ向上につながると思う。インバウンドを呼び込むためには、日本ならではのアクティビティが必要で、盛岡市のように、海外ホームページでのアピールも重要である。雨天時の集客のための施設として、中核となる飲食施設にコンシェルジュ機能があると良いのではないかと考える。また、そこにSNS映えする写真スポットがあると集客効果も高くなる。海岸の入り口にある門扉は、非常に課題であると考えている。自由に海へ入れないような印象を与えるため、利用者が減少する原因となっている。もともと目的があって設置したものであると考えられるので、再整備にあたっては、そのもともとの目的を別の方法で担保しつつ、撤去を検討すべきである。海へ自由にアクセスできる雰囲気は大事である。最後に、地域住民、施設管理者、利用者との交流促進のためのソフト事業は今後の課題で

あると考えている。例えば、ベイ FM でよく取り上げられているまるとごみジャパンなどと連携し、ビーチクリーン活動を促進していくことなどが考えられる。」以上が委員の意見である。

委員 基本方針の案については、検討会意見を反映できており、良いと考える。今回の検討会を契機に、蓮沼海浜公園が九十九里ブランドの発信地となるように取り組んでほしい。具体的な取組については優先順位及び時間軸を明確にして整理する必要があるため、今後速やかに整理頂きたい。また、今回の検討会議ではあまり触れてこなかったが、今後は誘客数ターゲットを明確にしていく必要があると考える。蓮沼海浜公園は広大な立地があるため、あらゆる層に愛される公園を目指すべきだと考える。例えば、船橋のアンデルセン公園は本公園と面積がほとんど同一の 39ha。2015 年の Trip Advisor のランキングでは全国第 3 位にランクインする人気公園。大きなアスレチック、子供美術館等が人気であり、ファミリー・シニア・カップル等様々な層に愛されている。そのような事例も参考にしながら検討してほしい。優先的に整備するコンテンツとしては、パブリックコメントにある季節の花の活用については積極的に検討していただきたい。先行事例としては、国営ひたち海浜公園（茨城）や、羊山公園（埼玉）が参考になると考える。いずれも都心からは時間がかかるものの、花を活用することで誘客につながっている。保安林に関しては、にぎわい施設との共生というテーマは面白い視点だと考える。千葉県の手ヶ浦海浜公園はヤシを活用して、誘客につながっている。面白い事例だと考える。

委員 パブリックコメントを受けて、地元理解を得ることが重要だと改めて感じた。雇用が創出される効果があることを伝える等、地元理解が得られるようにしていく必要がある。そのためには、観光振興にしっかりと取り組んでいく必要があると考える。また、九十九里といえばサーフィン、南房総といえば海と海鮮のイメージがある。サーフィンをしない人からは南房総の方が魅力的に映るため、よりバラエティーに富んだコンテンツがあることをアピールしていく必要がある。例えば、サイクリスト向けの施設を取り入れながら、観光施設として魅力を高め、ブランディングしていく必要がある。

会長 ターゲットを絞りつつ、より多くの人に訪れてもらうように工夫する必要があると考える。

委員 蓮沼海浜公園の公園施設は自然公園区域には入っていないが、九十九里には自然公園とされている公園がいくつかある。施設の見直し、駐車場整備、インスタ映えするオブジェ設置などを進めている。ビジターセンターなどを通じて情報発信を行っていく案は良いと考える。また、海岸は車両の乗り入れが禁止されているが、さらに歩行者と車両の動線を分ける等の工夫も考えられるのではないかと。

会長 自然保護の観点からも、良い方法がないか検討することは重要だと考える。

委員 パブリックコメントにおいて、津波対策の強化についての意見があるため森林課の取組を紹介すると、東日本大震災の教訓から、防波堤を整備した。その上で保安林を設けている。50m ラインまでの植栽は完了しており、100m ラインまで少しずつ整備を進めていく予定。成林に育て上げることが対策として重要。保安林が基本方針に位置付けられることは今まであまりなかったため、保安林の整備を上手くリンクさせられる形で方針に含めていただきたい。

会長 県の取り組みを多くの方に知ってもらうことも重要。東日本大震災では、海辺に樹林があることの利点を感じた。そのようなことを現場で感じてもらうことも良いかもしれない。

委員 海岸管理の観点からは、特段気になる点はない。県内で遊びに行くのであれば内房や南房総がイメージされると考える。蓮沼海浜公園の計画にあるように、魅力的な施設やコンテンツを整備し、誘客につながれると良いと考える。

会長 蓮沼海浜公園の整備に当たっては、広域的な観点からの位置づけが重要となる。周辺施設や周辺資源との関係でどのように連携できるかも考えていく必要がある。パブコメで海側は手を付けてほしくないという意見もあるが、規制は遵守しつつ、どこまで対応できるか検討が必要かと思う。

委員 施設を継続していくためには、維持管理の観点が重要。施設を導入した後のことまでも考えていく必要がある。パブリックコメントにおいて清掃ボランティアによる清掃の取組に関する意見等もでていたが、継続性の観点が重要になると考える。継続できる仕組みをつくれるのであれば良い取組だと考える。また、パブコメで防災に関する意見が出ていたことにも驚いた。

会長 絵空事にならないように現実的な意見だと考える。公園内での利用料が全て公共に返ってくるわけではないと思うが、魅力的な公園にしてリピーターを増やすという観点からは、維持管理の視点も重要である。防災については、丘の上にあるアスレチックなどが 3.11 で重要な役割を果たしたことから、ある程度の高さが必要かもしれない。

- 委員 職が創出されることは嬉しい限り。また、海辺へ続く道路の門扉については、この辺りではハマグリ漁の漁をしている方がいるが、門扉を海側に移動すると、密漁や不法投棄につながる可能性があるため、良い対策を考えていければと考える。
- 会長 プールも利用者数は減ってきているため、通年で集客できないか、プールサイドで何か楽しめないかということは検討の余地があるかと思う。門扉については、防災の観点から防犯という観点にまで広げて整理しても良いかと思った。
- 委員 渋滞回避対策として、アクセスしやすい道路整理を進めて良ければと考える。また、非効率な交通網の改善に関する意見については、バスの本数が少ないのか、最寄り駅までのバス・電車の接続が問題かはわからないものの、現在松尾周辺の街づくりの構想を検討中であるため、交通網を見直すことも可能。引き続き情報共有する。
- 委員 通年型観光は推進してほしい。現状では冬場は集客が少ないが、冬場の花火やイルミネーションの実施等をおこなえば、一定の集客が望めるのではないか。成田空港と空港周辺自治体ではサイクルツーリズムを推進している。自転車も一つのコンテンツになると考える。海側でできる星空の鑑賞、朝日の鑑賞等も良い案ではないかと考える。写真映えするスポットになり得る。また、数年前の民間の調査で、山武市が魅力度ランキングで最下位になってしまったことがある。名称に山武と入れられれば良いアピールになると考える。隣に九十九里町があることも考慮して、九十九里「浜」ともしていただきたい。観光案内所も設ける等すると良いと考える。保安林については、植樹し樹木を育てる一方で、歩道整備を進めていくことが肝要だと考える。
- 会長 ネーミングは大事である。また、通年で楽しめるものとして星空を想起した。
- 委員 九十九里海岸は名前としては有名であるが、実際にはあまり誘客につながっていない。県のHPにて九十九里コーストという名称でアピールもしているが、なかなか誘客につながっていない。イメージとのギャップが原因かと考える。そこで、九十九里らしさを発信していければ良いと考える。外国人観光客向けには、バーベキューよりもハマグリ漁の浜焼きの方がアピールになると考える。また、パブリックコメントにもある「クリーン」という意見であるが、山武市・地域に期待したい。地元の協力でクリーンな公園であるイメージを作っていくべきだと考える。また、ターゲットに関しては、施設別等で明確化することが重要だと考える。先ほどの星空の意見は良い案だと考える。なお、星空鑑賞は宿泊ニーズも喚起するため、良いと考える。
- 会長 成田空港トランジット者が多いという話が以前にもあったため、広域で集客する方法の検討が必要かもしれない。SNS等で公開された映像などを見たうえで、行って実際に見る楽しさ、行ったら少し違ったという楽しさもあるかもしれない。
- 委員 基本方針案については、しっかりと意見を取り入れていただいたと感じる。パブリックコメントに関しては、基本方針に直接反映させるのではなく、方針案を具体的な計画整備に落とし込んでいく際に取り入れられる意見だと感じる。基本方針を実現していくにあたっては、地元事業者との連携、情報共有を丁寧に行っていただきたい。なお、九十九里全体としての発信は今後もっとしていく必要があると考える。周辺の16市町村と、県の3事務所で連携して地域課題について考える体制を構築している。九十九里ブランドの発信についても寄与できると考える。情報共有を行い、協力していきたい。
- 会長 地域との連携は重要。事業者選定の際に留意すべきものかと思う。
- 委員 九十九里浜の活用がテーマとなっているが、海への導線を考える必要がある。九十九里浜を身近なものに感じてもらうべく、海への動線を改善していく必要がある。公園から海が見える等。入口を遮断していると、車だけでなく人間も通ってはいけないように感じるため、九十九里浜が見える位置に駐車場を整備したり、許可されることとされないことを明文化・情報発信したりしていくことが重要ではないか。また、星空についての話がでていますが、九十九里浜で星空や日の出を見る企画があれば宿泊ニーズも伸びると感じる。
- 会長 星は冬がきれいなので、今後、取り入れていければ良いと考える。

以上